



写真：県議会第302回一般質問

ごあいさつ

「新型コロナウイルス」2020年、何度この単語を目にするのでしょうか。何度、この言葉を耳にするのでしょうか。全国一斉の学校休校、緊急事態宣言の発令、外出自粛と、これまで私たちが経験したことのないことが次々やってきます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が進行していた3月、多くの人たちが感染リスクを避けるため、旅行はもちろん、買い物に行くのも、仕事に行くのも控え、日々の生活や経済活動を我慢すれば、これまでの生活に戻るだろうと思っていたのではないのでしょうか。世界的科学者の中には、コロナが収束しても、世界は元に戻ることはないという方もいます。新型コロナウイルスの経済的影響は、リーマンショック時を超える深刻なものになると予測されています。**経済的には深い傷を負うことになった一方で、私たちがこの経験から学んだことがあります。**人口が密集した大都市の脆弱性が露呈し、人々の価値観や行動が変わったことで、テレワークや遠隔診療、オンライン教育などが広まりました。これまで地方の弱点とされていた部分が解消される可能性が出てきたことは、**これまで以上に「地方」が注目を集めるチャンスであると言えます。**

そして、新型コロナウイルスによる外出自粛中、1冊の本を手に取りました。『こうして僕は世界を変えるために一步を踏み出した』この本は、カンボジアの子ども兵や地雷被害の現状を知り、大学在学中にNGOテラ・ルネッサンスを創設した鬼丸昌也さんの本です。10年前に買った本ですが、私の心に深く残っている言葉があります。**「すべての人に未来をつくる力がある。1つひとつの想いや行動の積み重ねは、世界を変えていく。」世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスも、1人ひとりの行動の積み重ねが世界を変えていくのではないのでしょうか。**

世界は変えられなくとも、1つひとつの想いや、その積み重ねが、青森と下北の未来をつくる。私自身もすべての人に未来をつくる力があると信じ、この困難に改革をもたらすため、下北の皆様のもとへ駆け回りますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

青森県議会議員 **山本 知也**



街頭活動継続中

8月1日現在 合計319回目



海上自衛隊大湊周辺



むつ市女館



むつ市中央

やまもとともや

山本知也 (37歳) Profile

生年月日：昭和58年2月19日生（むつ市出身）

経歴：奥内小学校、近川中学校、
田名部高校卒（陸上部）
法政大学経営学部経営学科卒

職歴：平成18年 むつ市役所採用
（教育委員会、総合戦略課）
平成30年 むつ市長秘書

地域活動：むつ市県民駅伝チーム 監督
むつアスリートクラブ コーチ

家族：妻、子ども3人

県議会：総務企画危機管理委員会
議会運営委員会
原子力・エネルギー対策特別委員会
議会改革検討委員会



青森県議会第302回（令和2年6月）定例会一般質問

第302回定例会・山本知也一般質問項目

- 1 ポストコロナ時代における県の対応について
 - (1) 県民の声に寄り添う県政について
 - ア. 新型コロナウイルス感染症で影響を受けている事業者への支援について
 - イ. 新型コロナウイルス感染症対策における市町村との連携について
 - ウ. 新型コロナウイルス感染症への対応の検証について
 - (2) **下北地域における磯根漁業の振興について**
 - (3) **地域ぐるみの災害に強いまちづくりについて**
 - ア. **津波浸水想定について**
 - イ. **消防団員の確保対策について**
 - (4) **令和3年度県立高等学校入学者選抜について**
- 2 **下北地域の道路整備について**
- 3 六ヶ所再処理工場のしゅん工見通し及び核燃料物質等取扱税の
税収見込みについて
- 4 青少年の安全・安心なインターネット利用環境づくりについて



青森県議会議事堂



質問

令和3年度県立高等学校入学者選抜について

山本の訴え!!

- POINT** ① 受験を迎える高校3年生、中学校3年生、保護者のみなさまから入試の時期、スポーツ大会等の評価がどうなるのかといった不安の声が届いている。
- ② すでに32の都道府県が入試の日程や大会実績等の取扱い方針を発表しており、東北でも宮城県、福島県で公表している。

山本 Q：令和3年度高校入試において、本県はどのような配慮をするのか、また中学校等の部活動の大会中止等を踏まえ、入学者選抜における部活動の扱いはどのようにするのか？

県の回答

教育長

答弁：令和3年度県立高等学校入学者選抜における配慮事項として、やむを得ない事由によって学力検査等を受けることができなかった者を対象とする追検査を新たに加え、例年同時期の3月上旬に実施できるよう計画しているところです。中学校等の部活動の大会が通常どおり実施されない状況等を踏まえ、公正かつ妥当な選抜方法となるよう、検討しているところで選抜方法等について、7月下旬を目途に公表する予定です。

山本のつぎなる行動

例年とは大きく状況が異なります。早期に日程や選考方法について公表することを再質問で要望しました!!
(7月8日、日程等について県教育委員会が公表)



質問

下北地域における磯根漁業の振興について

山本の訴え!!

- POINT** ① 下北地域の現場の声を聞き、その現状は魚価が全体的に3割安い。
- ② ウニやあわび、ふのりも昨年の半値。ウニの餌になるコンブも年々漁獲量が減っている。

山本 Q：下北地域における主な磯根資源であるコンブ、ウニの漁獲状況と磯根資源の回復に向けて県はどのように取り組んでいくのか？

県の回答

農林水産部長

答弁：県の調査によると、下北地域のコンブ漁獲数量はこの20年で1/3減少し、昨年は1,300トン、同様にウニも半分の450トンまで減少しています。県では、平成25年から磯根資源の回復に向け、餌となる昆布の種苗投入などの取組を支援してきましたが、依然として磯焼けは解消されず、今年度から2か年でウニの周年生産モデルの実証実験に取り組んでいます。

山本のつぎなる行動

漁港の浚渫や老朽化対策の実施、磯焼け対策にも取り組んでいきます!!



佐井村牛滝漁港の現地視察



大間町材木漁港の現地視察

質問 地域ぐるみの災害に強いまちづくりについて

山本の訴え!!

- POINT**
- ① 本年4月に公表された日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波浸水想定では、地震の最大規模はM9.3と推定され、最大時の津波の高さ浸水想定がこれまでの想定を大幅に超えた。
 - ② 地域防災の要は消防団であり、岩手県では割引サービスの取組みを全県的に行っている。

山本 Q1: 内閣府が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルを踏まえ、どのように対応するのか?

県の回答

三村知事

答弁：県及びむつ市を始めとする県内沿岸市町村の津波防災対策の基となる津波高や浸水範囲を示す新たな津波浸水想定に着手したところであり、今年度中に検討を終えることとしております。津波災害が発生した際には一人も逃げ遅れることの無いように今後も津波防災対策に万全を期していきます。

山本 Q2: 本県における消防団員数の状況と消防団員の確保に向け、県はどのように取り組むのか?

危機管理局長

答弁：本県の消防団員数は、10年前と比較して約10%減の1万8,013人で、将来を担う若い世代や女性を対象に消防団の認知度向上と入団促進を図っています。今年度は入団勧誘に活用いただけるよう小冊子を作成するほか、市町村や消防団等と連携することとしています。

山本 要望: 浸水想定について、早期に公表するとともに、「緊急防災・減災事業債」について、令和3年度以降も継続されるよう、国に対しての要望を強くお願いしたい。



山本のつぎなる行動

県が年度内の策定を予定している津波浸水想定について、下北の市町村長のみなさまとともに一刻も早い公表を訴えていきます!!

質問 下北地域の道路整備について

山本の訴え!!

- POINT**
- ① 原子力立地地域である下北半島地域は、防災の観点から避難道路として道路網の整備が大きな課題。
 - ② 津波浸水想定が大幅に引き上げられたいま、むつ市から大間町の海岸線を走る国道279号を含む下北地域広域避難道路の早期整備が必要。

山本 Q: 現在整備中の国道279号二枚橋バイパス及び下北地域広域避難路の整備状況と開通見通しはどのようなになっているのか?

県の回答

県土整備部長

答弁：**国道279号二枚橋バイパス**については、現在工事を進めている大畑町側の2.1キロメートルについて、**年内に供用を開始**する予定としております。残る木野部峠側の工区については、今年度事業着手しております。下北地域広域避難路の短期計画に位置付けられている風間浦村易国間地区の村道については、県代行工事業として整備しています。一般県道葉研佐井線については、1.5車線整備に取り組んでおり令和3年夏頃の完了を目指して、主要地方道川内佐井線については、令和4年度からの通年通行を目指して事業を進めて参ります。

山本のつぎなる行動

下北の道路整備について、市町村長そして先輩議員とともに継続して訴えていきます!



日々のレポート

宮下市長へむつ市緊急経済対策についてインタビュー



Facebookにて青森県及びむつ市のコロナ対策を紹介

斗南藩150年記念先人達の遙かなわだちを歩いてみよう!



新型コロナウイルス対策

～新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの皆様へ～

青森県及びむつ市の支援を紹介します!!

青森県新しい生活様式対応推進応援金

目的

県では、「新しい生活様式」の実践による感染拡大の防止と事業の維持発展に向けた県内事業者の取組を支援するため、「青森県新しい生活様式対応推進応援金」を支給します。

応援金の額 **10万円**

対象者

新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少している、県内に事業所を有する中小企業をはじめとした大企業以外の法人及び個人事業主であって、感染拡大の防止と事業の維持発展に向けて「新しい生活様式」を実践している者

要件

- 令和2年4月30日以前に開業し、営業により得た事業収入に伴う税の申告をしており、今後も事業を継続する意思があること。
- 令和2年1月以降、申請日の属する月の前月までの期間で、新型コロナウイルス感染症の影響により、月間事業収入が前年同月比で20%以上減少した月があること。
- 「新型コロナウイルス感染症に関する青森県対処方針」や業種毎のガイドライン等を踏まえ、適切な感染防止対策に取り組んでいること。
- ③の取組に従業員や顧客に対して周知していること。

受付期間

令和2年7月27日(月)～9月30日(金) (当日消印有効)

問合せ先

青森県新しい生活様式
対応推進応援金 電話相談窓口
電話 **0120-945-769** (通話料無料)
平日 9:00～17:00



むつ市新型コロナウイルス対策

むつ市
経済対策
第3弾

生産者事業持続応援事業

漁業	応援金の額	漁業共済掛金3割助成
	対象者	漁業共済加入者
農業	応援金の額	夏秋イチゴの苗代5割助成
	対象者	夏秋イチゴ生産農家
林業	応援金の額	林業機械の固定費(50万円上限)助成
	対象者	林業事業者
畜産業	応援金の額	肉用子牛の生産費助成(飼養頭数に応じて)
	対象者	畜産農家

あんしん飲食店等認定制度

目的

事業者支援の一つとして、感染予防対策支援チームを有する市が認定させていただくことにより、双方の「あんしん」を確保し、市内経済活動の再開と発展を促していきます。

応募方法

市ホームページから申請書をダウンロードし、申請してください。

認定

感染予防対策支援チームが店舗に伺い、認定証とステッカーを配布。※青森県新しい生活様式対応推進応援金の要件③、④の要件を満たすことになります!!

問合せ先

感染症危機突破プロジェクトチーム
青森県むつ市中央一丁目8-1
電話 **0175-22-1111** (代表)



青森県議会議員 山本ともや事務所

〒035-0041 青森県むつ市金曲一丁目7番8号 TEL:070-1143-4500 FAX:017-771-4331
E-mail:yamamototomoyajimusyo@gmail.com URL:https://www.yamamototomoya.net

皆様のご意見、ご要望を **山本ともや** までお寄せください。

Facebookで
日々の活動を公開

<https://www.facebook.com/aomori.yamatomo>

